

平成 28 年度 第 2 回 多摩六都科学館組合事業評価委員会 会議録（要旨）	
日 時	平成 28 年 8 月 10 日（水）午後 2 時 00 分から午後 2 時 15 分まで
開催場所	多摩六都科学館 2 階 201 会議室
次 第	1 平成 27 年度事業評価報告について 2 中期事業評価のための圏域市民調査等の実施について 3 その他
出席者	小谷委員、坂本委員、柴田委員長、杉浦委員、桧森委員
欠席者	
決定事項	● 平成 27 年度の事業評価報告（報告・確認） ● 中期事業評価のための圏域市民調査等の実施（説明・確認）
資 料	（事前配布資料） 資料 1 平成 27 年度多摩六都科学館事業評価報告書 資料 2 中期事業評価のための圏域市民調査等の概要
特記事項	なし
<p><b>凡例</b> 発言者の略記（長：事業評価委員会委員長、委：事業評価委員会委員、組：多摩六都科学館組合、指：指定管理者）</p> <p>1 平成 27 年度事業評価報告について</p> <p>組）6 月 10 日に柴田委員長より多摩六都科学館組合管理者（丸山西東京市長）に報告をした。報告書と参考資料は、組合のホームページに掲載・公表している。</p> <p>2 中期事業評価のための圏域市民調査等の実施について</p> <p>組）中期事業評価のための圏域市民調査等業務は、平成 25 年度の調査と比較し、この間の科学館の活動の成果や市民意識の変化を明らかにする目的で行う。調査では、多摩六都圏域の主要公共施設でのアンケート調査、科学館の非利用者へのグループインタビュー等を行い、地域の中で科学館がどのように受け止められているかを把握する。</p> <p>（資料の説明）</p> <p>委）グループインタビューの人选や実施方法は具体的にどのように行うのか。</p> <p>組）市民モニターの縁故などを活用し、条件を示して募集する。</p> <p>委）大学生に聞く必要があれば調査に協力する。</p> <p>組）納税者中心に実施する予定であるが、基本計画改定時に幅広く意見を聞きたい。圏域市民で科学館利用者と非利用者を比較すると、非利用者の方が多い。一方では、直接、受益者になっていなくても、家族が利用するなど身近な存在が利用していれば納税者としての納得性もあると考えられ、そのへんの実態を調べてみたい。</p> <p>3 その他 （特になし）</p>	